

第41期 第2回常任幹事会報告

日時 2011年1月27日(木) 13:30~16:15

場所 東京労働会館5階会議室

出欠席(敬称略): 竹崎、高島、高木、南條、堀口、田川、福井、前沢、寺川、影山、民谷、相川、木村、深沢、西銘、金澤、斎藤、杉山、植松、松尾、河内、市橋、酒井、秦、坂本、西川、吉野、岡本、入山、岸田、中村、
(品川社保協) 18/32 (下線は欠席) 議長: 福井副会長

<学習>13:30~14:15

「2011年度東京都予算(案)を分析する」大山とも子日本共産党都議会議員はじめに、高木副会長からのあいさつ(略)を受け、以下の加盟を確認した。

婦人民主クラブ東京都協議会 2011年1月14日

<報告>

1、以下の日程に沿って、活動報告を受けた。(略)

12月

- 2日(木) 9:30~ 第13回常任幹事会 10:00~ 東京社保協41回総会
- 3日(金) 臨時国会閉会
- 18:30~ 「子どもを貧困から守る」連絡会 於: 都教組
- 5日(日) 10:00~ 東京母親大会 日本教育会館
- 6日(月) 10:30~ 中央社保協介護部会 「介護110番」記者会見
- 18:30~ 学習会「介護保険はどうなる?」介護をよくする東京の会
- 7日(火) 15:00~17:00 相談活動交流会 東京労働会館3階会議室
- 13日(月) 11:00 東京生存権裁判最高裁への要請行動
- 14日(火) 18:45~ 都民集会 於: 日比谷公会堂 1200人
- 15日(水) 10:00~ 介護をよくする東京の会
- 第4回定例都議会閉会
- 19日(日) 10:30~ 中央社保協代表者会議 於: 全労連会館2階ホール
- 20日(月) 10:30~ 都民連世話人会
- 24日(金) 13:00~ 事務局会議

1月

- 7日(金) 13:00~ 介護保険・後期高齢者医療制度厚生労働省レクチャー
- 11日(火) 15:00~ 国保パンフ検討会
- 12日(水) 12:30~ 中央社保協介護部会
- 14:00~ 中央社保協運営委員会
- 13日(木) 10:00~ 国保部会
- 17日(月) 10:00~ 介護をよくする東京の会
- 20日(木) 15:30~ 消費税廃止各界連事務局会議
- 24日(月) 12:00~ 国会開会日行動

	13:30～	2011年度東京都予算原案学習会（都民連）、TPP学習会
25日（火）	18:30～	日本共産党都議団との懇談会
26日（水）	18:30～	2011東京自治フォーラム実行委員会
27日（木）	11:00～	東京生存権裁判最高裁要請
	13:30～	第2回常任幹事会
	18:30～	2011春闘決起集会 中野ゼロホール

2、中央社保協、地域社保協の取り組みについて以下の報告を受けた。

- 1) 2010年度中央社保協代表者会議、1月12日運営委員会から
- 2) 厚生労働省レクチャー（1月7日）内容は、別紙の大阪社保協のまとめを参照
- 3) 相談会の取り組み 2011年1月東京社保協ニュース参照
- 4) 国保、議会要請、運営協議会へ対しての各地域・団体の取り組みは、以下のとおり。（事務局が把握できている範囲、別紙資料を参照）を報告などの取り組み
 - ①国保アンケート（1月26日現在）は、23区中23区、26市中24市（未：調布市・稲城市）を集約。運営協議会の非公開自治体（葛飾・世田谷・荒川区、日野市・武蔵野市・多摩市）へ公開を要請するなかで、日野市は傍聴可になった。アンケート結果まとめは、作成中。
 - ②学習会は、各地域で開催。引き続き学習会を重視する。
 - ③区長・市長への要請、懇談も各地域で実施。引き続き要請を。東京社保協として23区特別区長会・江戸川区長へ「旧ただし書きを止めよ」「都道府県化反対の意見書提出」の緊急要請を行った。
 - ⑤日野市・羽村市、中野区・葛飾区・荒川区・板橋区・渋谷区などで独自の署名に取り組んでいる。
 - ⑥国保の相談会は、1月29日（土）中野社保協が実施予定。各地域でも取り組むことが重要である。

3、各部会・共闘団体の取り組みについて、以下の報告を受けた。

- 1) 介護をよくする東京の会は、1月17日事務局会議開催し、以下のことを決定。
 - ・2・11シンポの成功へ 目標：150以上、東京の会の賛同者への申し入れ
 - ・第3期総会を5月22日にラパスホールで開催
- 2) 医療部会は、国保パンフの作成、各自治体の国保値上げの動きへの対応と緊急学習・交流会の開催を決定。
- 3) 消費税廃止東京連絡会は、第1回定例会へ「消費税増税反対の意見書提出」などの内容の請願（紹介議員：たぞえ・清水・かち日本共産党、福士敬子自治市民‘93の4人）を42団体・1643筆個人署名を添えて提出した。
- 4) 子どもを貧困と格差から守る連絡会議は、1月28日（金）18:30～20:30 エデュカス東京4階都教組会議室で、学習・交流会を開催し、政策提言、自治体への要請書、公開質問状などを検討する。

5) 都民連は、1月24日2011年度予算原案の学習会を開催。第1回定例都議会への取り組みを確認した。都知事選直前の議会でもあり、開会日(2月8日)には500人を超える参加を組織することを確認した。東京社保協は、各地域の旗をもって参加することを確認した。

6) 生存権裁判を支える東京連絡会は、最高裁へ向けての署名(目標15万筆)と特別カンパ(目標150万円)に取り組んでいる。12月13日最高裁要請行動へ58人が参加し1万5423筆を提出、1月27日は、52人の参加で1万103筆を提出した。第5回総会 2月19日(土)13:30~台東区民会館9階ホールで開催する。高齢加算が削減(2006年4月)されてから2011月まで合計130万9100円となる。生活扶助分の17.24カ月分に当たり、生活破壊である。

4、12月度決算と、2011年度会費納入状況の報告を受けた。会費納入は、37団体(54.4%)で、1月12日付けで「納入のお願い」を再交付した。早期の納入を確認した。

<協議事項>

1、情勢について事務局からの報告を受け、交流した。

1) 第177国会開会 2011年1月24日~6月22日(150日間)

①消費税を含む税と社会保障の一体化については、4月までに社会保障の「あるべき方向性」をまとめ、6月までに消費税を含む税制「抜本改革」の基本方針を示す案を作成。必要財源の試算も指示→経済界・労働界などの代表参加する集中検討会議を新設する。また、社会保障と税の共通番号制に関する論議をすすめ、関連法案の国会提出をめざすよう指示した。年金の支給開始年齢を引き上げることも検討する(21日:与謝野馨「税と社会保障の一体改革」担当相)と発言した。

②「平成の開国」と称して、環太平洋連携協定(TPP)加盟推進で「『平成の開国』を成長と雇用につなげる。参加の結論を6月にだす。

③日米同盟は、わが国の外交・安全保障の基軸であり、アジア太平洋地域のみならず、世界にとっても安定と繁栄のための共有財産である。2011年度から5年間年間1900億円の在日米軍駐留経費負担(「思いやり予算」)に関する特別協定に署名した。名護市辺野古への米軍新基地建設を押し付ける日米合意(2010年5月)の履行を最優先で取り組むと明言した。

④国保法施行令の今年度中の改正について、国保料(税)の計算方式を2011年度税制改正大綱で「旧ただし書き方式」に一本化して13年度分から適用する。

⑤後期高齢者医療制度に代わる「新制度」は、2014年度に先送りする方向である。今国会に改定案が提出されるか?「新制度」まで後期高齢者医療制度が継続されると、さらに保険料の引き上げへとなる。「新制度」は、75歳以上を国保(1200万人)、被用者保険(200万人)に戻すが、75歳以上の保険料の医療給付費の1割を保険料(給付と負担の適正化)として徴収する差別は温存し、70~74歳の窓口負担は2割へと倍化する。

⑥2012年度の介護保険の改定は、給付抑制、負担増路線へ舵取りする。今国会へは、利用料負担増やケアプラン有料化(案)はまとめるが、先送りするか?軽度

(要支援 1・2、要介護 1) は、地域包括ケアへ(支える体制は、自助・共助・互助・公助という「新しい公共」) 移動させ、介護保険対象から除外することを検討中。⑦行政刷新会議「規制・制度改革分科会」が、1月26日に「中間とりまとめ」決定した。医療では、一般病床の入院日数のさらなる短縮、公的保険の適用範囲の見直し、介護保険施設の相部屋の室料徴収などを明示。

2) 財界の動きでは、経済同友会が、2011年1月11日に「2020年の日本創生一若者が輝き、世界が期待する国へ」を發表し、<7>社会保障制度改革では、年金の2階建てで基礎年金以外は民間保険化、すべての年齢での窓口3割負担、介護1以下は、介護保険適用外などを政策提案している。

3) 国保(23区の「旧ただし書き」への移行)の動きは、1月14日特別区長会役員会で「旧ただし書き方式」への変更を決定できず、役員会へ一任。18日の特別区長会会長・副会長の会議で移行を決定。1人平均9万4479円から5180円増となる。2年間は、軽減措置で11年度は、1374円増。たたかいは、各区の運営協議会から区議会へ。三多摩では、日野市(平均2万円値上げ)・羽村市(2千円)・府中市・立川市(3年続いて値上げ)、西東京市(限度額の引き上げ)など各自自治体で値上げされる。いっせいで地方選挙の大きな争点にする。立川市では、1月28日の運協で市長の諮問が否決された。(詳細は、社保協ニュース 2011年2月号参照)

4) 東京都2011年度予算原案は、第1回定例都議会で論議し決定される。内容は、乳幼児、小中学生、ひとり親家庭、障害者などへの医療費助成予算は減額、肝炎入院医療費助成など43事業が廃止・終了する。4000億円のオリンピック開催準備基金は、1円も使われず温存。利子は、121億円。特別養護老人ホームへの経営支援は2億円追加され今年度並みに復活するという運動の成果もある。

2、41期常任幹事の自己紹介と、団体・地域の取り組みについて交流した。内容は、以下のとおり。

- 1) 2011年度予算(案)は、高齢化などの自然増は認めるのみで新規はカット。社保協が正念場のたたかいを展開するときである。東京土建保険国保料の引き上げも検討せざるを得ない状況である。(東京土建)
- 2) 目白駅で視覚障害者がホームから転落して死亡。ホーム柵があれば防止できた。ホームでの事故は、視覚障害者に限らない。JRのすべての駅でのホーム柵の完成は、再来年までかかる。「まちづくり」の課題として社保協でも取り上げて欲しい。障害者自立支援法の改定作業が継続している。自立支援法の問題点の改正になっていない。日本障害者フォーラム主催で抗議集会をもった。(障都連)
- 3) 羽村市長に「国保値上げするな!」を要請、「値上げしない方向で検討する」と回答。値上げ反対署名にとり組んでいる。2次医療圏で医療過疎となっている西多摩地域の医療を守れ、の都知事要請へ取り組んでいる。(西多摩社保協)
- 3) 1月25日の国保運協で最高限度額の内容を変更。市議選の結果、少数与党で市長を支えることになった。保育新システム、消費税について学習を広げたい。(西東京社保協)
- 4) 1月19日に国保学習会を開催。国保は、憲法25条の制定で相互扶助から社会保障になった。このことをしっかりとらえて運動することが重要である。1月28日に「増税やめよ」「国税通則法改悪反対、強権的徴税やめよ」の集会を開催す

る。(東商連)

- 5) 年金の引き上げが強行されようとしている。たかが 200 円と言っても物価がマイナス 0.3%、6 万 6 千円の国民年金受給者にとっては厳しい。年金者組合の組合費は年金の 0.4%であるが、払えないから退会や値下げの声が大きい。年金引き上げの個人請願に取り組む。国保改悪反対、高齢者の要求実現へいっせい地方選挙をたたかいたい。(年金者組合)
- 6) 12 月 15 日から実施した厚労省前 2 4 時間座り込みで確認した要求をもって厚労省交渉を実施する。後期高齢者医療制度への不服審査請求は、2011 年は集団ではなく個人で実施する予定。会員拡大も今年の大きな課題である。(都老連)
- 7) 板橋区議会へ「国保への財政支援を要請する、国への意見書の提出を求める」請願を提出したが否決。2011 年春闘で年金の引き上げをたたかう。(年金者組合)
- 8) 東京新聞や朝日新聞などマスコミが子どもの貧困問題を取り上げている。第 2 部での教職員の取り組みで取材を受けている。「子どもを貧困から守る東京連絡会」へ参加して欲しい。(都教組)
- 9) 1 月 14 日の 23 区特別区長会へ向けて、12 日に葛飾区長へ申し入れ。運営協議会の公開を申し入れたところ、福祉部長(港区から移動)は、「公開しないのはおかしい。経過を見て考えたい」と答えた。独自チラシを作成して、2 月に 4 日間、3 月は全駅頭で宣伝する。後期高齢者医療広域連合議会の議員と懇談したが、議員自身も制度のことや短期証のことなど認識していないことが分かった(葛飾社保協)
- 10) 国保については、昨年 10 月要望書を出した。1 年で 2 万 1974 人が社保から国保へ移動している。国保世帯の 47%は均等割りのみ。2 月 3 日の運協の委員への働きかけ、傍聴を組織している。民商の協力を得て「国保をよくする会」(仮称)の立ち上げを検討中。介護保険料は、第 5 次改定で引き上げられる。2012 年の改定で在宅誘導をすすめる抜本的見直しが行われる。自己責任がいつそう押し付けられる中で、現状とたたかいの方向を共有する場が「2・11 介護シンポ」である。東京からの参加組織を強めよう。(足立社保協)
- 11) 第 177 通常国会(社保国会)へ、国保の取り組み、高齢者医療制度、介護のたたかいを強めている。チラシ、はがき署名などの取り組みをすすめている。無料低額診療が立川相互ふれあいクリニック(2 月)、大森中診療所・大田歯科(4 月)取得。代々木病院も書類提出。全国の無低診の半数は民医連加盟。(東京民医連)
- 12) 1 月 18 日、6500 筆の署名とともに提出した国保の請願が審議されたが、「23 区長会で決めたから」とのことで、内容の論議なしに否決。「区民に説明を」の請願も自・公が反対して不採択。請願を数多く提出してきたが、こんなひどい対応ははじめてである。2 月 4 日の運協へ向けて取り組みを強める。(板橋社保協)
- 13) 2 年に 1 回の改定となっていた国保料が 3 年続けて値上げ(案)が答申。26 日の第 2 回の運協にプラカードで各委員に反対を訴え、傍聴席をあふれさせた。結果は、会長を除いて 6 対 6 で 1 月 28 日に緊急の運協が開催され決定することになった。さらに取り組みをすすめて否決させたい。(28 日の運協は、市民代表・医師会代表・共産党議員の反対多数で「改定は見送るべき」になった)この運動の広がりを土台に早期に立川社保協の結成をする。(立川社保協(準))
- 14) 受診抑制が広がっており深刻である。在宅酸素の患者やがん患者の中断は深刻である。外来での高額療養費の上限の引き下げが課題である。協会としても都議会へ要請した。救急車の到着から搬送までの時間が 53 分とまた更新した。全国最

下位で救急医療も崩壊状態で深刻である。(東京保険医協会)

- 15) 渋谷社保協として75歳以上の医療費の窓口負担無料を、の署名(目標5千筆)に取り組んでいる。地域ローラー作戦を実施。団地に署名を事前に配布して、回収に訪問すると留守のところは、ドアに署名をした用紙が張り付けてあるなど反響は大きい。区の予算の1%4億で実現可能。認可保育園の増設署名にも取り組み、保育園門前宣伝を実施。父母との対話が広がっている。(渋谷社保協)

3、国保改善の取り組みの到達と以下の今後の課題を確認した。

1) 国保改善への緊急学習・交流会の成功を

日時：2月8日(火) 14:00～16:30

場所：東京労働会館5階会議室

内容：学習(「23区国保値上げ阻止へ」と運動交流と意思統一

学習：安達智則氏

報告：葛飾区、中野区

行動提起：緊急署名などいっせい宣伝を!

2) 各区の運営協議会・議会開催へ要請と傍聴を

2月2日(荒川区)、3日(足立区)、4日(板橋区)

・運営協議会の公開へ

非公開：葛飾区、荒川区、世田谷区、武蔵野市、多摩市(東京社保協アンケートより)

3) アンケートまとめは23区26市(調布市・稲城市未報告)の回答を待つ集約「月刊東京2011年2月・3月号」に一部紹介

3) パンプ(案)について提案し、意見を集約。単価50円に抑えるために、2万部普及が必要なため、加盟団体で広く普及する。

4) 宣伝物の普及について

ポスター2千枚(普及約600枚)、ポケットティッシュ4万個(普及約1万5千個)の一斉宣伝日を設けるなど活用をすすめる。

5) 引き続き、要請・署名・宣伝・一言運動で反対世論を大きく広げ、都知事選挙、いっせい地方選挙で各候補者へ国保への財政支援と値上げ反対を要請し、選挙を通して国保改善要求の実現をさせる。

4、後期高齢者医療制度の改善(短期証の交付の中止など)へ以下の取り組みを確認した。

1) 東京広域連合議会への傍聴(1月17日に東京社保協他が陳情提出)

1月31日(月) 13:00～広域連合議会

終了後、日本共産党広域連合議員との懇談会開催

2) 短期保険証・資格証明書の発行について、1月31日の「短期保険証」の期限切れについて各自自治体へ今後の状況を問い合わせ、発行させない取り組みを強める。→1月31日の広域連合議会で、2月1日以降も短期証を発行するとの報告。(資格証明書は、発行予定はいまのところない)

5、国会議員要請行動について、東京社保協・東京土建・東京民医連・年金者組合
東京都本部・後期高齢者医療制度の廃止を求める三多摩連絡会との共催で実施する
こと、参加組織と署名集約を強めることを確認した。

日時 2月16日(水) 13:00～16:30

場所 参議院講堂(196人)

内容 ・高齢者「新制度」反対、安心の医療を ・国保への国庫補助拡大を

プログラム 13:00 開会 報告国会情勢など
13:30 議員要請行動
15:00 交流会
・各議員要請の結果報告
・主催者団体の取り組み報告など
16:15 行動提起
16:30 閉会

○今後の国会行動(国民大運動実行委員会主催)

日時: 2月2日・16日、3月9日・23日、4月13日・27日、
5月18日、6月1日・15日

時間: 12時15分～13時

場所: 2月は議員面会所、3月以降は衆議院第2議員会館前

6、介護保険改善へ、「2・11シンポ」の成功と各保険者への第5次改定への要
請・懇談をすすめることを確認した。

7、下記の要請の報告を受け、確認した。

- 1) 2・11介護集会→(賛同、一口5千円)
- 2) 2・13学習集会「介護保険10年・どうなるどうする」→後援
- 3) 「青ひげ先生の聴診器」青年劇場の紹介→各加盟団体へチラシ送付
- 4) 「2011東京自治フォーラム」実行委員→前沢・寺川
- 5) 石綿対策基本法の制定を求める団体署名→加盟団体へ要請
- 6) 仕事宣伝・住宅エコポイント拡充チラシ(東京土建)→加盟団体へ配布
- 7) 「カタクリの花の咲く頃」劇団銅鑼→加盟団体へチラシ送付
- 8) きょうされん第34次国会請願署名・募金→加盟団体へ要請
- 9) 隔月刊「社会保障」の購読のお願い→未購読の常任幹事・各加盟団体へ要請

8、以下の当面の日程について確認した。

1月

- 28日(金) 13:30～東京生存権裁判支援する会
18:30～子どもを貧困から守る東京連絡会
30日(日) 14:00～16:30 東友会新春のつどい
13:00～ワンストップの会年末フォロー相談会

20110127 第41期第2回常任幹事会報告

31日(月) 13:00～後期高齢者医療広域連合第1回議会(飯田橋区政会館)

2月

- 1日(火) 10:00～15:30 2・1高齢者集会(全労連2階ホール)
- 2日(水) 12:30～中央社保協介護部会
14:00～中央社保協運営委員会
- 5日(土) 13:00～「変えよう東京 憲法が生きる教育へ」東京集会2011
13:00～社会保障憲章・基本法研究会
- 7日(月) 10:00～安心年金ネット事務局会議
- 8日(火) 10:00～都知事要請
12:00～開会日行動
14:00～国保学習・運動交流会
- 11日(金) 10:00～第44回都民集会(障都連主催) 於:東京都障害者会館
12:00～16:00 介護シンポジウム
16:30～宣伝行動(有楽町マリオン前)
- 15日(火) 15:00～介護をよくする東京の会
- 16日(水) 13:00～16:30 国会議員要請行動
13:30～16:30 「国税通則法改悪反対 納税者主人公の権利憲章制定を
求める」シンポジウム 衆議院第一会館 大会議室
- 17日(木) 13:00～ 関東甲信ブロック会議 (東京地評5階会議室)
- 19日(土) 13:00～ 東京生存権裁判総会
- 24日(木) 13:30～ 第3回常任幹事会

第3回常任幹事会について

日時 2月24日(木) 13:30～16:00

学習 「介護保険の改定で介護はどうなる！」

場所 東京労働会館5階東京地評会議室

○第3回以降の常任幹事会の日程について確認した。

- 第3回 2月24日(木) 13:30～16:00 場所:東京地評5階会議室
- 第4回 3月24日(木) 13:30～16:00 場所:東京地評5階会議室
- 第5回 4月28日(木) 13:30～16:00 場所:東京地評5階会議室
- 第6回 5月26日(木) 13:30～16:00
- 第7回 6月23日(木) 13:30～16:00
- 第8回 7月28日(木) 13:30～16:00
- 第9回 8月25日(木) 13:30～16:00
- 第10回 9月22日(木) 13:30～16:00
- 第11回 10月27日(木) 13:30～16:00
- 第12回 11月24日(木) 13:30～16:00